御老名彈正さん

13

開結

ロイドジョルギの演説を聴きはぐる

マリスト数界の書稿、海老名頭

Ø

想像論だ は十五日から本線一部の列耳#7 を改正する響であるが長哈間は現 在の運行を左の如く改めた 在の運行を左の如く改めた

得大郷鑑賞な施設を属すべく考慮してある けて考へるのは當らない、政府も之が野策には重きを置きけて考へるのは當らない、政府も之が野策には重きを置きないである。最近失一美門の現が、斯次深刻化 て懺重に考へればならぬ、黙疑の質の影響に就ては縁と井上の源面り行くものではない。各方面に極めて重大なる影響を験 後に及ばす影響の観察なるべきを漫画して居るものが多いやうだが、奴隷影 とも今は言へない、最近十一月に職行するとの説も流布されて 即行の時機に就ては今少し之を見た上で態度は既に組織電視機能と近き勝利に於て配行する方針で 時機が決めてあるのに かき社會政策器を合に於て終に指述された自政策器を合 ふ事が出来ののか、取は次 を選んで賦行する方

恒久財源を見出すのは困難 の問題

八日紀』東鎌にて

一時からであつたと思ふ、とにか、 「時間ないて報告したのであったが、 「時間ながの本場だけに顕像したのであった。 小児が活動の私を費つた以上であれた。「開発ないないであるから、「開発ない

殿の紹介がなくては入れない。

熱じ得なかつた。 ・ ジョルデの影も変もなく

リアム、シアラー氏を使って壁に リアム、シアラー氏を使って壁に 東線反動の宣傳を信しシアラー氏

止した影響に就いては表月二日音 一で変調したが、寒約品のみならず 一で変調したが、寒約品のみならず で変調したが、寒約品のみならず

海軍通を使つて 軍縮反對を宣傳 米資本家の陰謀暴盛

に割合したものであると

修正する方針を執るに至ったも今回其實現に、無一軍中の融給

作告前の契約品につい

病機査を施行するがその日的は左 の牛乳機取営業者に新し寄牛綿板 の牛乳機取営業者に新し寄牛綿板

に標在の上沿破各地を日本主要宣 に標在の上沿破各地を日本主要宣

電話 六四 一〇番大連市信濃町岩代町角

三根





大連市吉野町二〇割五分引

電話四二六六會

東鐵支那 明してある は狭定とみられてある 側幹部の態度强硬 を懐 言の 獨逸實業家の

八月は十九萬圓

引揚決定的

刺客の裏をか 安日香館の更狭設のた を入れんとするの傾向 に六十五名の歴典(集地在出 が順東線解部一部には、夕は八日保主機會を開催して が現実線解部一部には、夕は八日保主機會を開催して のと非を決定する館である。

で居らぬ 一種の資味で問題を表明して居らぬ 一種強硬の変更を表明していません。

共産黨の

一味が

全國的暴動計畫

運動費三十萬元を準備し

天津に總本部を置く

行ふのではなかららか倫ドイバンタの引揚後其の管薬節節

東洋進出

トシュルフ極東支部人が来哈してファットシュルフ極東支部機能につきタルトファット

京を取っ である事は此一事を以て明かであ 南京 り真茹驛から乗車 極左派の活躍に 蔣氏の身邊危險 天津谷機闘は緊張し之が野策を職に 別の かられた から 大津管備司 合部に 急電あり 的暴動の實行に着手する冒南京政入港し九月中旬を以て一齊に全國

復興の自邸を出で上海標響勝に て上海北岸車場附近に悪の軽調を職取した後、八時過ぎ伸 つた、こは蔣介冠氏のこれ時半王正廷氏を引見し書支間職 た特別仕立の列軍に乗る上海七日發電』 蔣介召氏は今朝 同所に於て破密拠に用す

蔣氏密かに

目動車を騙

であるが、主として観査公債銀行生智氏は此間に在って服理の機治と稱して今解上海に徹在中となり反義傾向は益々深厚の機能も相 閣派の反蔣運動も漸く熾烈

御弓四張りは目下東京府下職の胎の石津貞蔵氏が試験を急いである(寓質は重要中の石津)宮城内にては夫々御塾帽を進められてゐるが御蔵生後七日目の歌書爆扱の御饌に用ゐられ

生後七日目の順書場数の御儀に用ゐられ

鳴弦の御儀に用ゐられる御己

なる騰雪が流布されて唇」て蔣氏に代らしめんとして居る鬼邊に危險がないとも限一るは事實で極左脈は汪光鏡氏を

が加藤明氏は上京戦緩艦の誤解を 特で此程團啥した、右につき氏は 特で此程團啥した、右につき氏は ちる場係から起に合併することに ある場係から起に合併することに ある場係から起に合併することに が加廉明氏は上京軽銀艦の記述のルントルビン特米八日数』補間で 哈銀滿銀合併

部のすべき旨を彫明した かんまがました かんまがませば 地名中の任意繁現に 中の任意繁現に

印度代表へビブラー氏並にギリシ

#紀念割引大賣出

獵具附屬品

九月二十日まで

を であったのを十七日間に延長し、 であったのを十七日間に延長し、 であったのを十七日間に延長し、 學堂教員の講習會

雜穀輸出貨車の

配給復活を交渉

哈市會議所が東鐵に



島久の

は電調配者に動し其事動を否定しと述べた。簡ニューポートの批長

印希兩國

代表聲明

法廷條項調印を

らねばならぬ

される限り政府は今回の如き流が全く無關係が一

代整治

香しょう 代型店 村景太郎

明 の よ い

ष्ट

昭和コロダイン 昭和祛痰散

治外法権撤廢熱の盛んな際に 社監者悉く重病患者

時期尚早の意見を有してゐる其理時期尚早の意見を有してゐる其理時期尚早の意見を有してゐる其理

時に接し支那でも最も文化の進んとは特人で居る、即ち浙江省は上

| 下野野が吹き 込んで全身|| 完成 | 東京 | 大に | 「大に | 「大い | 「大

減らず係傚事総出脈で収職を近めの活動に入るべく入日は日曜にもの活動に入るべく入日は日曜にも 一般事品では更に大

大連ラグビー 位置決定 七日夜初會合

日午後七時より青年會庭食堂にて「會を熟認してゐると」と「俱樂部を改稱」では九月七、但し以上の他隱れたる同好者の入た違うとピー俱樂部(大連實業) 松崎、主幣有田、監督井村

死體遺棄

卅五件

今數を以て現命掛自

件で、これに懸する検撃件数は一 は血臓さい方で数人事件が發生一 る大連懸は更結時と云つても相當 る、競生件数に対し検撃成縦は七 はいばはしく管内八月中の犯罪件数は、側二分に書り従來に比し良好では 件、ではしく管内八月中の犯罪件数は、側二分に書り従來に比し良好では 件、大遇市の中心心臓部を便振してる 千十七件、人員九百五十九人でめ 百千大遇市の中心心臓部を便振してる 千十七件、人員九百五十九人でめ 百千大遇市の中心心臓部を便振してる 通じてみた世相

現金掛自由併用

は出 機事とも十一件、微火が酸生、機 会員の日繁使用するが뾃品の購買 のであるが、無識風むに関し着く 機事とも一件、酢漿恐喝的酸生二 一 特別 である飲食店組合と協力 エーー件で検事百十九件、生娘が 会員の日繁使用するが뾃品の購買 のであるが、無識風むに関し着り 北原 百十二件で検事百十九件、生娘が 会員の日繁使用するが뾃品の時に 大者に対しては総事とも二十九件、特徴が誕生二 し特別館引方の便高を眠り時には た者に対しては総名成分を行ふと 一 1 大手で検験を 1 大手に関して 1 大手に対しては 1 大手に対して 1 大手に対

十一月から實行

満鐵社員會の生活改善

泥棒の世の中

八月大連警察署を

送迎歴止等は全部可 見郷の反離酸止(五) 間消費組合の現金掛自由併用は十 會開催(三)冠婚郡祭 す 生活の改善に努力せんことを期間の資本と講習の社社員會は母優の現在と講習の社

四年間を費して 全日本徒步旅行

香川縣三艘郡縣田村大西京三氏は 日本一周の徒歩旅行を批製し大正 田本一周の徒歩旅行を批製し大正 一十五年一月故郷を出墾し北は郷太 市は寒飕まで暖なく踏飾したが更。 にて會合し にて會合し にて會合し にで寒線を輝て大連に出で が、にて會合し にでいる際前肥大西氏と桃千姑屯 にて會合し にでいる際前肥大西氏と桃千姑屯 來滿した香川縣人

四時、サッと幕が続られる、孔雀の黒幕を背景に桃色のドレス、瞬に足りない掴立小屋をめあてに右に、左に、なだれをうつてゐる、大群衆が犇めき合つてゐた、騎思巡査が馳せつける、後から見てる。

止に三分間

マネキンの出現

温ぐる五日の午後三時、京 道路が郵便局と明鮮銀行の 大理繁に阻まれ澱んででき たやうな京城唯一の大闘場 たやうな京城唯一の大闘場 たやうな京城唯一の大闘場

秋晴の鋭い陽光が縦を刺す

眞ツ紅な唇から[※]

进り出る團結の叫び

その社會的地位を引上げやうこ

大連の大連の女給向上會組織

朝博を前に大人氣

高行の上 奉天に到職し同様率天寺に宿をとつたが、献三日様率天寺に宿をとつたが、献三日 營口の中疫

益《猖獗

を受け致食式を挙げる事になつてり規約も脱稿し近く大連髪の腕可の地がある。

職業上の研究、際戦後至上有益な対象と終むる技器

日本天世祭出から職強が投資工名は協力が経に努めついるものであり、同地の日東世紀で入るが、八世の日東世紀で

脈客列車顚覆し

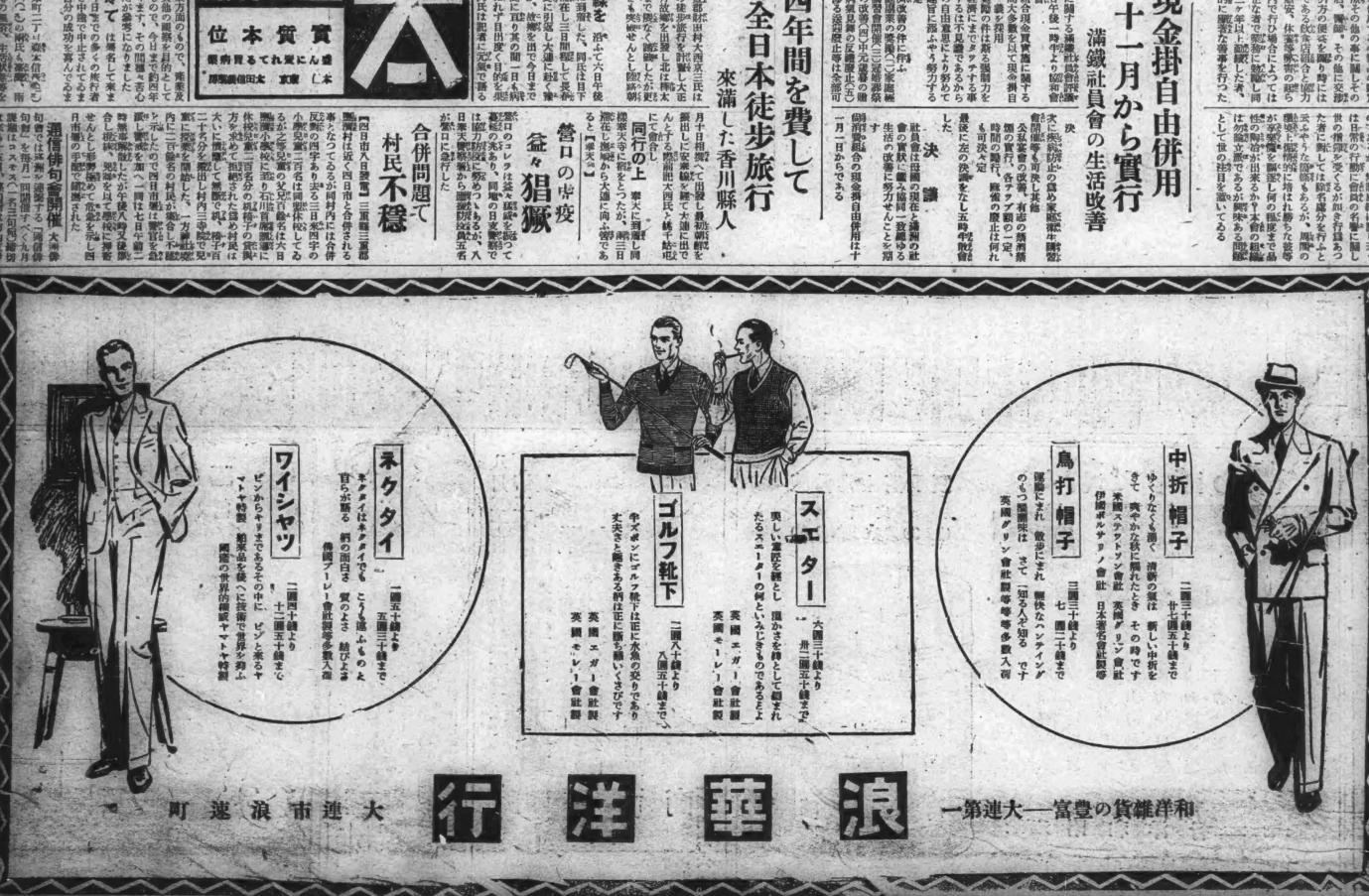
外傷者多數

東鐵東部線の椿事

原因は赤露人の所業か

合併問題で 村民不穩

一行先々で したが今日までの多くの旅行者 は殆んど中途で中止されてゐま は殆んど中途で中止されてゐま



とてもわた

松花江の神殿がもつ脱却、それ も降り出しさらに残って窓に関稿 は晴れた日、太陽の射線が難覚の が降り出した日、そして晴れた日 大殿の が降り出した日、そして晴れた日 なしいものであるかに思べた。 が 成氏と共にそこへ行つた。 わたし アン、ドンゲンが出すでもあらう はアデウをその河岸に告げたい を ところの色彩と翻載とであったか 持で行つたのだ。 だ

ルピンにて いベンテでもあればどいふことを 慰がありその下のところとへに自

を 臓に艇たちが外形を浴びて楽しん で散撃をするとかで、ロシャの椅 あらうロシャ女の特別がスナラア たか、快適に且つ終題に配くでも ないときに訪れられたら、どんな

からなかつた。取分けオテル、アップ出來たであらうと云ふこと とはヘルピンのもつロシヤ都市の 立版なロシヤ型所の嫌つかをも しはヘルピンのもつロシヤ都市の 立版なロシヤ型所の嫌つかをも を対した。 たったしてそれらは何れもわた

在くまし、 をのヘルピンな酸的いものかも ものなら、それに飲いて十分の数 水をしたかも知れないのだが、ヘ ルピン就在中、麦の郷に出かけた れらに就いて一人記述する際にも 十分に

であるわたし

遂に

明るい愉快さを

・ は

であるわたし

変に

明るい愉快さを 微量の不穏な容無とが何とな

シア将令景は羨ましいと思へるも 関木の懸窩にある、從つて、ゆ のだつた。 シア街全景は満ましいと思

傅家甸がどんなに敗席であつて

ルピン 安那香港等の風俗。生活状態に田職太常でもの耐氏も楽物 アナヤ銀ハルピンに向つた旅客列 た。原因は赤鷺人の所築と宮はれ依れば七日午後八時十分ポクラニ れが鳥め東部線は運行不能となつ

車は出頭後間もなく脱線順覆し死サナヤ酸へルピンに向つた旅客列

傷者多數の見込である。

げてゐることをよく知つてゐる

まへたちが私に愛と感謝とを揮

おじぎをする) からどんなに愛されたとであり ませらの人々は私を静に作りま

お話しさ

太陽と遊星の

の女王の月姫だ。 (一橋に) あ、み空

鬼が話した

月夜の晩に

天女の船頭こいでゆく 船首にくだける金の屋 とび散る被は金の屋 とび散る被は金の屋

酸つて行つた

太鼓艦かけて

雲の被間をおしわけて、 み窓にろかぶ月の船 A

お月さんのなかに

5

鬼が話した 月夜の戦に

お話しさ

ひとりでいつた

職の降る戦に

お月さんの中に

いついついつた

のなかにから

青

青山 拾夫譯



大チャ

タンケン

(96)

内

面

か

5

0

消

6

3

く汚

12

۴

學 星の降る夜 習劇

(四)

番品一同。 (太陽の前に頭を下 職はくば私感にあなたのめでみ そついけて下さい。

地球。 めに永遠に光と聴とを悪み関へれしく思つてゐることである。 お前たちはそれらの星の作間にお前たちはそれらの星の作間に (太陽の足下にひざまづ

大陽。おう!かわゆき地球よ、だが、我々の世界の宇宙はすべての配の磁力で出来であるのです もし、わたしたちの世界にあなたのおすがたがないならば私たちの世界はとこやみの世界とな 多の世界となるでありませらの みたまふ日のみ酸に心からのおおう。王様!私は光と熟をめぐ 徳を申上げなければなりません 夏の女神。太陽がまつすぐに地球 女神(四人一緒に)私たちの愛す はたのしい が出來るかごぞんじですかっ

は私を乗する場理の人々に美しい夜を興へなあち二十七日の間い夜を興へなあち二十七日の間の中うな優勢な数を西の空に現はします。十五日には延かくて批駁なまんまるい姿を夏の空に現はします。 だん~~小さくなる月の「だん~~小さくなる月の」 能は東に向いてゐる 大使乙。(歌ふ) 夏・秋、冬の女神が現れる)、へ此の時頭に花輪をつけた釈、

は歌は輝く夜は長く、曹物を歌一パカリデス。窓い多がはじまります。此の時一マネンセイニ窓い多がはじまります。此の時一マネンセイニ おたはどうして感い多や暑い夏 上を照らしはじめる時、そこに タラウサン

をのに最もよい時です。 をの女神。寒い気がだんとく去ってゆくと秘は美しい花を伴って みなさんがたの世界を訪れます みなさんがたの世界を訪れます なるとき木の葉をまつ赤にそめ

いすきないろくのおいしい果 物をもつて來るときです。 美しい機が訪れますの様こそ 『ハヒサン イ ウダイ。モシ デ ウダイ。モシ デ マテクレタラ ナ

スアヒッナハワタ タラウル ンテチデイヨ

スンク

强肺

8

行

ガクカウ

ケウゴハラキト ・ルヤウニ タラウ モン・モレ

近藤 重

りし足心持かな と加き路一筋を避り來て水に

·ガヤ ·スノ

に開炎でまふ と 関連の番別の原

最の豆電燈を取りつけいろくの ので板面に多 文字が大々に現れるやらなしかけ 北海道など製作中のものが難然と 種たはつてゐる。 その他爾アメリカ、

年教育品展覽會

出品物

のぞ記

大連一中の部

一様々の模型地側が出来である。そには大小 無電影からその間隙を放送しやが ボックスを置いて、一中校舎内の ボックスを置いて、一中校舎内の 石夫、 施村博 とは苦心の頭の歴然たる か歌か の出来るホヤの内部酸明線形があるが三質に ルの中

形髪を美

附着が目下作製を急いでゐる関東

あるくご生づ理科地開始に足を入

生の大衆、御野の開君は目下すば

の厳上にあるのと同じやうなスカ

立派に 出来上つてある。

は我の學びし数能見えぬ

マウハ ヲシサヒオ

大いで大きいのは五年生高杉正 光りで秋深みゆく

や、無見類は驚に功勢に作られでも大古の動物プロントザウルでも大古の動物プロントザウル

品である。 である。 を製作の収鑑。下は図年生石井城 である。

3 15 ル 5 = ゥ チ作 度し、風洗の貸家七十圓也 (七字)、湯殿、烏庫附、庭 で・チカ、湯殿、烏庫附、庭 の、味源源六、四年 正直洋行

シテタレー オポサンへ デファンナイフ

カカヘテ

キラレナイ、

7



さい可愛 お花を金にした n お月

東京電氣派會社 わたしのきものを銀にした

を保持する真の男性美の象

O七·勝大·白东·斯 りまに内温飲化。店園、店園 風のやうに入つて小太郎がひら りと聴りこむと、もと通りに帯を 場めて、御吓寒に捌金まで掛けて

花の方様が、

松色の織を張った頭部形の瞬本が、高い天井へ夢のやらな光芒を

で動したであらうなったが、外で、は、よいにの大きな臓を立て、

天 ひながらを見を引開けると、

離だの名をい

突然三左衛門が板戸を振返って

と観たがよいの観響題はよせ

のしただでない。関題なことは申 鬼が出るか蛇が出るかいお頭目に「得てく〜三左、どうも此管はお 「爨な似だな。だがまあい」やい

- 製山のものと知ると、影響をわして次の正覧がわからねエッわしを大

選定發送

B

(四)

(105)

4

日台"清大會

飲まずに治る

コリサ浸透療法

く色の上でする白にを

日活八社

演主

特種治療法の完成

一世の で提出する事になり東京 で提出する事になり東京 でおり東京 でおり東京 でおり東京 でおり東京

三左衛門はいつか糖の酸を配ん もとより命を差上げた三左裾門 ります、女の誘拐であれ、何で ります。女の誘拐であれ、何で ります。女の誘拐であれ、何で 申しあげたことのない三左裾門 でざります。女男の五人十人ど 澳去來(九) 場響を立てた連點を、気をひきな概能は下つて、三間毎に組織の 「格別の御用とも来はりませぬ」 「格別の御用とも来はりませぬ」 その時、その激励の下では、二

を、そこから、右へ折れると小 の、同仕立になつてゐるに悪ひな

本で、野京後十日野カメラに遭入る事になり中止されたの時度は十日野カメラに遭入るで、野京後十日野カメラに遭入るであるかを國民に知らせる方針であるかを國民に知らせる方針であるが出来上れば、大阪省の後援映でをあるが出来上れば、大阪省の後援映であるが、大阪省の後援映であるが、大阪省の後援映であるが、大阪省の後援映である。

かれて脳の機声に耳を

人の男が息をひそめてゐるのだつ 「小太郎どん、 小太郎どん、ちゃあの管理は手女の置音をやり通じておいて 女面の小太郎と壁の目頭五郎の

草間こ吾妻

『何しろ永い間空家同然の代官様の古屋敷だもんだから、日が墓たが最後、まるら、日が墓たが最後、まるら、日が墓たが最後、まる

人江たか子

になる職様のお願みになれば、

んだ似のしあはせでござりま

に入ったんだなし

松竹映畵の 聖安曹 1 歐洲輸出 ネガ十二本を

東北県 高のスターとして活躍して 東北京 計画、 音要三郎の耐人は今東た草計画、 音要三郎の耐人は今東近が 高く銀幣して 野生の第一たとして 全私大改革の 物性となった

着が――なる歴物がいへまへんわんがと、あまり持てすぎて腹がらんけど、あまり持てすぎて腹がいて居る が云へまへんタ、無社まで休む様 御座る。わけを問へば「今日は物 御座る。わけを問へば「今日は物 かったので、かって、カンラングを力にでを明かそうとした。 皆の所様様が到時間で来た何時か三人がでいた。 皆の所様様が到時間で、カンラングで、 というのとなって かったんだ。 皆の所様様が到時間であった。 俺が たっと石工を使と三人文明

九日より制用界行 モデーン経験

本賣藥會社

話六四六六十

五味國校、都さく 帖

)-8-8-8-8-8-8-8-3**/**8-3-8-8-()

主演 痛經神スチマウリ膜腹クマクロ肺

りあに店業名有国全

6葉にて効果判然百閒一見に不如

消断のならぬ ゴム防水

0

畫界東西

0

日より

國

大郎どん入るざ」 大郎どん入るざ」 たい、今は夜だからかつちりた別 が同じことらしい。二三度打動の が同じことらしい。二三度打動の である。割はこの都をあげてあるの が高い、今は夜だからかつちりた別 が同じことらしい。二三度打動の である。まい、一つてるようがるまい。 である。また、 一つで排金がかよってるる。だが、 一つでおようがるまい。 である。だが、 一つであようがるまい。 である。といることがなる。 見せた上のことだ。それより肝胃の緩の方だが、壁すところはこのの緩の方だが、壁すところはこの 『江戸情史譚◇ 市川石太衛門が指き出した江戸御殿市川石太衛門が指き出した江戸御殿

一方立府の緊
動変を受ける事を天下に
を受ける事を天下に
を受ける事を天下に
を受ける事を天下に
を受ける事を天下に
を受ける事を
を受ける事を
を受ける。
を使ける。
を使はるを使ける。
を使ける。
を使けるるを使ける。
を使りるを使ける。
を使りるを使ける。
を使りるを使ける。
を使りるを使けるを使りるを使ける。
を使けるを使けるを使りるを使けるを使

要配映画「蛛海翼小六」に野成 で取りて居る日活に於ては、今 を掘え付けた。 下に「魔劍艦的城」を完成した。 下に「魔劍艦的城」を完成した。

大阪の歌舞伎に在つた胴部忠正大阪の歌舞伎に在つた胴部忠正大阪の歌舞伎に在つた胴部忠正なった。総木選子と大に「かるめん」に主流する事になった。

を耳までかって 急に ゲラ と 異までがって 急に パラーと 焼い出した、ソラ出した、ソラ出した、メラ出した、メラ出した、メラ出した、メラ出した。 はよいさん、はよいつて からいさん、はよいつて からいさん、はよいつて からいさん、はよいつて かっちょう 出たよう では、ことつちも内たんだ。 「孫の心が、はや果が利いたのか、マクニンの別が、はや果が利いた。 なのか、マクニンの別方は、マクニンの別方は、 毛皮舞、樂色

到

職権でつ以を信告の大多が所提出進大ノキマ 【第石寶の一権重要大るす供提 山岱熊後…督監 助之雨川中…作原

良い器は





309



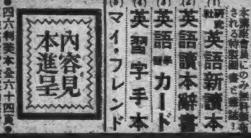




座講信通語英國

登録がに君有責凡給てず年目頭もはらは事六は非左の無君ゆへ英速諸だ脳感青な英が十。一常右將をにる。語に君。で受年い語あの。そ生にさ來尋英關現を本、切な性期。にる手の多れもね語門代我壽機にけにの語は。智大の多れもね語門代我壽機にけたの語は。智大の多ながる知は礼物座を薦れ富彈學當併と

日丁六吋見土富區叮獲京東 部學信通社究研 【番五八〇三京東替振】



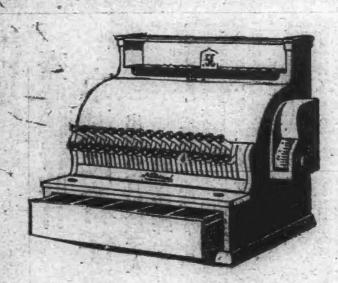
期學新月十 集募員會

發展する商店の出枘に欠く可からざる

ナショナル金銭登録器

絶對に信用せらる。理由

- 1 需要が多い一愛用者二百九十五萬を突破し日々激増しついあり。
 - 2種類が多い一大小商店向五百餘種の外、出納器、會計器、統計器の各種。
 - 3 構造が優秀―加算器その他機能完全、堅牢無比、責任保證を附す。
 - 4 價格が廉い―大量生産による廉價二百八十圓より御撰釋御自由。
 - 5 安心して使へる ― 愛用者に満足のサービスを實行する事四十七年間。



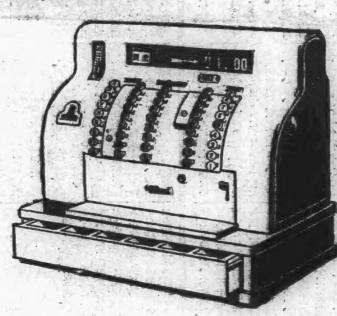
容易い月賦排有 説明書第一〇一號 御申込次第選呈

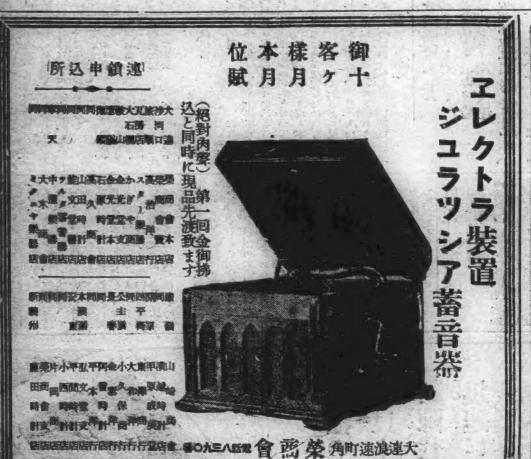
米國貿易株式會社

ナショナル金銭登録器部

札・親 北一條西四丁目 第一議兵ビル 仙 蘇 南 町 十 七 香地 橋 高 中部尾上町四丁目角 東京市京韓區級座三丁目 理話京報 (56) 五一六七一九 大阪市東區博勢町堺筋角 理話翰第一一五五。三九一四 大湖市近江町五香地 電話二一〇八〇番

京 郡 四株通館馬場四人ル 神 戸 元 町 通 一 丁 目 岡 山 本 町 通 二 丁 目 版 島 研 優 町 二 十五番地 間 興 東 中 剤 二 五五番地













大連市和伊町建築協會三階 大連市和伊町建築協會三階

し穏健妥當な

開始したしと極めて態煙安舎なる態度を持してあると確眠する 画像に膨する意思ある事を表示せる貸め此の點を摑んで支那政府は本年中に各種法典を完備し司法裁 画像に膨する意思ある事を表示せる貸め此の點を摑んで支那政府は本年中に各種法典を完備し司法裁 の関係は、以前の利益・大田舎に於て何れる治外技権撤譲の の内容は各國が第一大田舎に於て何れる治外技権撤譲の の内容は各國が第一大田舎に於て何れる治外技権撤譲の である、右脳舎の内容は各國が第一大田舎に於て何れる治外技権撤譲の の場合は、大利の第二大路舎文は今戦米國公使館に到職した、大利の第二大路舎文は今戦米國公使館に到職した、大利の第二大路舎文は今戦米國公使館に到職した、大利の第二大路舎文は今戦米國公使館に到職した。大利の第二大路舎文は今戦米國公使館に到職した。大利の第二大路舎文は今戦米國公使館に到職した。大利の第二大路舎文は今戦米国公使館に到職した。

外交團は好感を以て 第二次照會交を迎ふ 交渉開始を承認するか 風大計のため一致努力せん事を を形成せん事を求めた貴會も薫 を形成せん事を求めた貴會も薫 を形成せん事を全額各級業部。 を形成せん事を全額各級業部。

【北平八田鹽電】英米佛臘四國公 右回答に於て常然交渉開始の承認 使は支寿政府の治外法職能感報二 を興へ或は進んで空気を測を 大服會に難し本月中に意見交換大 始時機等送記及するやも聞られず 大服會に難しては外交融では例にな の態度を決するものと豫想され 取り所本問題は各國と支那との取 であるが、支那側の今回の態態な 一取り所本問題は各國と支那との取 の方に依り解決さるべき戦略に のつた模様である

主席師長の兼職解除

「北平神県八日酸」総営会議会議会 ・ は之を政治会議に続けして決定すーを
・ は立を政治会議に続ける決定を ・ は立を政治会議に対するの決議会に ・ は立を政治会議に対するの決議会に ・ は本本神県八日酸」総営会議会を ・ は本本神県八日酸」総営会議会を ・ は本本神県八日酸」総営会議会を ・ は本本神県八日酸」総営会議会 ・ は本本神県八日酸」総営会議会 ・ は本本神県八日酸」総営会議会 ・ は本、は、 ・ は本、は、 ・ は本、は、 ・ は、 ・ は、

文武官の劃分は 双十節迄に實施

國境において

露支兩軍衝突す

死傷者多數の見込み

聯盟總會々場と 事務局の定礎式 七日創設十年記念日に舉行七日創設十年記念日に舉行

来る十月二日は神宮式年選宮に 関官公署は當日公休することに 関官公署は當日公休することに のではないて公布されたので関東に

6今明日中職会を以て公休を

出廃中のラテン、アメリカ問題代 総合中の各層代表打滅つて列離した、右の中には歌歌各加歌園よ歌歌機會と場と事務局の定職が表付の債あり折除歌歌機會のほめ歌大なる設質會と共に工費入百餘萬國を投じて強歌さるべき関際。 『ジュネーブ七日翌電』本日は園際歌歌劇歌千周年記念日につき にベルー 表はチリーの職態理事會に任期補 教決職した

支那市場を繞る 列强の貿易闘争

をを新職省伊教職守使業所に離れると新職省伊教職守使業所に離れしつ」あり、会職はの省別、会職はの省別での場所で、会職はの省別では、会議のいいは、会議のでは、会議のいいは、会議のでは、会議のいいは、会議のでは、会議のでは、会議のでは、会議のでは、会議のでは、会議のでは、会議のでは、会議のでは、会議のでは、会議のでは、会議のでは、会議のでは、会議のでは、会議のでは、会議のでは、会議のでは、会議のでは、会議のでは、ないのでは、会養のでは、会議のでは、会は、会議のではないは、ないのでは、ないは、ないのではないはないのではないいはないはないのではないいはないはないいはないいはな

巧みな宣傳掛引

結局は双方折合はん

新疆に侵入

二千の勞農兵

二百萬春園雨、大色園、 古時山東方面が粉料せる支那政局 電時山東方面が粉料せる支那政局 の偽理にあつて戦略相種ぎ、物政局 の偽理にあつて戦略相種ぎ、物政局

林屋山堂

◇…配して右路臓の中米臓品の 機断に終て前年に比し日本向二 をあることは制目に値する。また、 地間に終て前年に比し日本向二 た十六萬海獺南、英國向二百萬 逃さる」に至ったが爲めに外か 世は 職人に看過し得ない 一宗してゐるが、其母濫率に於て

條件のため行[編んでゐるが近く來] 類委員會に向つて拠出した**財種の** 職職年氏に決定したが同氏より安

上口巨大山山大同巨大 「天津神県八日里」 海南よりの消 戦能し國民戦打能の師を 「京林神県八日東」 音長歌声戦戦 る態色戦は幽縁山氏の郭戦と称に ちれて居ると 「京路氏等の御部下及発地に版在す られて居ると 「京路氏等の御部下及発地に版在す られて居ると 山東の雑色軍が 國民軍に背反説 孫、張兩氏の舊部下等

歌奏員會に強調察二集感取が固尺 三千百九十貨保者三萬八千六百之 三千百九十貨保者三萬八千六百之 三千百九十貨保者三萬八千六百之 に要した手雷八百四十九萬元。三 回に取っての銀兵十五萬八千六百之 に要した費用九百十九萬元。三 で合計一千七百六十萬元を受款者 で合計一千七百六十萬元を至急支

佛國は軍縮會議を

益々忌避する傾向

補助艦旣定計畫を

中止するに忍びずとして

官廳公休 で見のんな

者に左の如く語った 満口總理は訓鮮のみならず植民 満口總理は訓鮮のみならず植民 けばよいと思ふ、折蕩省は最上 けばよいと思ふ、折蕩省は最上 が外地の人事に容喙云々につ、 が、善用しなければならぬ、折 だ、善用しなければならぬ、折 がが、当日しなければならぬ、折 を要するものと難るのは最論 につ、 につ、

安達內相

首相を訪ふ

日相を 【東京八日設電】例年九月は野凶 田和四 の分枝脈で原日が設なり天餐大郷 と新古米の出題り程度より高下の 大場 技職を演じたものであるが、今年 せ 九月の米相場

たきを馴してゐるから別に心配 中一日の實行後算該明會は費口 中の質行後算該明會は費口

出迎の官民數千

高く歓聲をあぐ

貴族院方面の意見

質行豫算編成は

明かに議會無視

「大学のであるというの思いであるというの思いであるというの思いである。 「中中の地域に関係を活け、一般であると、野漁館の外官民養手騰原を活け、一般であると、野漁館の外官民養手騰原を活け、一般であると、野漁館に関係のの主要を持ち、一方の東中職事職を任めた。 「中中の地域」 「「大学の」 「大学の」 「「大学の」 「大学の」 「「大学の」 「「大学の」 「「大学の」 「大学の」 「大学の」

『長春時』更生じた長春商工会議 所は経に変行会員の運動をなし夫 定め素質及び役員の運動をなし夫 定め素質及び役員の運動をなし夫 では長春商議は一時機能を吹止し では長春商議は一時機能を吹止し 一概の小児殿、男女學生殿、縁

展安東要 八月中の安皇木/株式 1000円 では、東京教学 八月中の安皇木/株式 1000円 では、東京教学 1000円 1000円 では、東京教学 1000円 1

はない。 順南宮陽圏などは腰中にも 1000 である 1000 では、 1000 では 1000 では 1000 であっている 1000 では、 1000 で

安東の木材界

血液の を良くして 間質によっては認修して多量の病 棚を迅速にする結果、頗る身體を強調に 製出し 血液の循環を良くして精気を 無妙なる「妙布」の作用は酸内の高 内臓諸機関の運動を促進して製 筋臓乳・神・リラ 肉、喉の 経パマチ の の がマチス 痛に痛い 痛に スム 肩腰のコリ 病毒を製出して血液の動 「砂布」を

第一位 ワグホーン(英行はれ左の結果を得た。

スに當るイングランドト

奉天の商埠地に奉天の商埠地に

てゐるかのやうである、早

を はて 無時間に 飛び出して来た 年

杯選手權

觀衆百餘萬

5

秋晴の下、鑿の音、槌の音脈し 店氣漲る 西部郊外

を目ざましいもので殊に西部大 を用さましいもので殊に西部大 を用さましいもので殊に西部大

が支那軍隊が出動し修理に努めつの開連は一週間後の見込みである 聯合演習終る

本社の新築工事進捗す

本年末迄に輪廓は完成

稻

使って紙面も確定の如く十三段師 第八三階壁の新社殿職処の美と相 第八三階壁の新社殿職処の美と相 の美と相

で解散した を慰め十二分の効果を敷め午舶 を慰め十二分の効果を敷め午舶

育園、湯崗子▲二十二日大連、 南野戦闘艦を行ぶこと」なった 本九月十九日安東、率天▲二十 日奉天、撫順▲二十一日奉天、 東、本元十十日を東、本天本二十

人様職山(この野菜を購入中域は人様職山(この野菜を購入中域は人人様職」(の野菜行商をはずし支繭上り口に置き来合せた出東生れば見楽居住の野菜行商をはずし支輪というの妻タル(ごは七日午前九時ごろの妻タル(ご)は七日午前九時ごろ

世東京人中 要言 | 歌章 英原事件の | 東京人中 要言 | 歌章 英原事件の 證據蒐集

篤志家の救恤金

月以來七百圓

十五名の日鮮人が救はれて まだ五百餘圓の残り

大阪の時計商

国際兵職合會長谷田志郷生氏 來る十九日來造

癈兵會員の

下二分十一秒二の新レコードを出 出たので犯人捜査中八日午前入時電 | 次國人エリス憲式は一千ヤー のを後でラルが無付き大浦駅へ回 を破取し何吹はぬ離で立ち去つた | ジャルの際に乗じてダイヤ人り指輪 全米ゴルフ大會

獲得した では、カードでは、カ 輸は犯人宅に歐勝してあるを摂收。連署刑事が護用した、ダイヤの指

(刺

い繊糸多數着荷

佛國口州公社特約店 丸 尚 糸 店

ラデス

不逞團

と合同

八團と

林省城に集喰ふ

事務用品展

芸能で來る廿四

「第十七課」大連點學

三味線)大和家

大日本忠愛義會

低文房具店 全國對る處の 御中食到之時 金五十日 御中食到之時 金五十日

大連市西廣場西入 6 電車通池 田小見到

環帯はら屋

花 流行の…… 転動の: 少间物 告為り

特賣 のう र ツ殺虫剤に限る か退治に





「メントウ河の洪水で列車運輸せ

生牡蠣とチブ

他の魚類は如何

水産會議員松丸氏から

蠣が危險なら

一代職一の海童物、解来職る有職を 一のには関係ないか

類は吸つではなら

六、大連市民の日常使用する野 にく薫泉は肥料として使用さい あ、テブス職はカキだけに研究

保養、下水廠の在る閉辺例へば瓦城をン野菜、「概」に基いて居るのであつて即ち

指輪を盗まる

公園町二〇九番地見野龍松

られてゐると

中華足蹴團の猛練習

施工の は は は に を な は に を な は に を な し に を な し に を な し に を な し に を な し に を な し に を が を も と に で い で し に を も の と で に を も の に で に を も の に を も の に を も の に を も の に を も の に を に を に を に の に の に に を に の に に の に に の に に の に に の に 。 に の に 。 に の に 。 に の に 。 。 。 。

今井博士に質問書 のある無しに減らず市中から税 出する表展の賃め傷水が不測で テブス酸を帳槽する恐れがある から危険故闘東州のカキは一般

開全党を原文のまい

金井博士の回答要旨 たかも知れぬが私が大連関内の複 たかも知れぬが私が大連関内の複

四、常局者は適常な素が場当に採売がは此の海がと云はれる其具態的影響がと云はれる其具態的影響がはは此の海がは此の急が如何なる方法を取ければ此のの場が表もないがなる。 艮品と不良品の 區別が判るまい 危險なもの」あることは事實

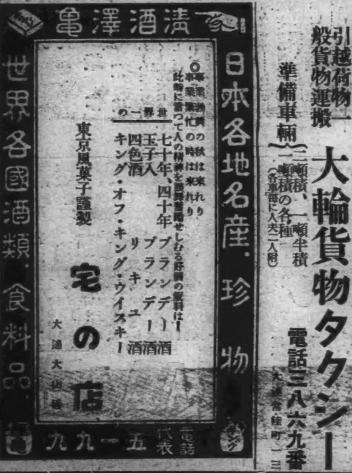
る期待に一大致命働を興

名な闘車州内某権のもので闘東之その牡蠣は牡蠣の豪地として

◆…其他小さい細菌膨上の御動機 ・・其他小さい細菌膨上の御動機 ・・大に鑑賞な吐幅の養殖法如何 を、大に鑑賞な吐幅の養殖法如何

禁止すること 概候に於ける牡蠣の採収は脈体 概要に必ける牡蠣の採収は脈体 必ず清水を以て洗滌するこ中に多く養疹く生牡蠣の如

渍







ルーン抵討いに(美















恢補佐奈木氏は

遺憾乍ら無資格

太田地方事務所長談

支那の陳謝で

無事解決す

支兵附屬地侵入事件

打一を出したる

十月第一日曜に

観察のため五日出襲

大連出張中の歳 ヘルピン

市民運動會開催

小學校の運動會と切離して

青年團主催で行ふ

七日午前二時項票累添葉工社宅西 「健所架家康王談方に拳銃所指の三 人組號誘現はれ続報者の父及要女 を動かし金品多数を翻載送記。因

であったが関日午達入時支票職からは青城を持ちれ、 を大力をいが関日午達入時支票職からなり出した場面を持ちは青城を長多難に御屋して見課べ中 が歌兵分離に御屋して見課べ中 を大力をが関日午達入時支票職からなり出した場面を が歌兵分離を訪れ職職し文書を以 を変響が一大職小職長王政金三名。ので級り出した場面を の保証を釣した一能を入れて事済 の保証を釣した一能を入れて事済 ので級の妻女にプローニング学徒 を関の件で表現は他別に及んだ を関の件の表現にしてもられたと本 を関の件で表現は証例に依り を関の件で表現を表すると を関の件で表現を表すると を関の件で表現を表すると を関の件で表現を表すると を関の件で表現を表すると を関の件で表現を表すると本 を関の件でを書すると を関の件でを書すると を関の件でを書すると を関の件でを書すると

豫防注射

取締に付出意を促す書があつた即

は 東天の水響戦人数源に
本天の水響戦人
大変・
の水響戦人にも
も
の水響戦人にも
も
は
東天の水響戦人
大変・
大変・

日本内樹及び戦補方面を避難した 七日午後一時十分長軽に到版した が乗る十日から関本十日間日本橋 を戦内で転載すると、関に一座は を見せると

型面以下指方 を対してはあるが は確な栄ひではあるが

到安東劍道戰 對安東劍道戰

六五部電







後四時から所聞の庭珠試合を催した場所では本熊湖に順歌 送别庭球試合

(四)

備囘戰に入つて

歓迎會脳者の

ファンをやんやといはせた

意識を回復した複機であるが生命 を事べ當となり直に臀師の乗診を行るので自宅に標準であるか午後一時頃から多少

五名同部務小學教師中から三名を
「競斗な」の原ウオールサム懐中時
に競斗な」の原ウオールサム懐中時
に競斗な」の原ウオールサム懐中時
の原ウオールサム懐中時
の原ウオールサム懐中時
の原ウオールサム懐中時
の原ウオールサム懐中時
の際ウオールサム懐中時

▲宮地圖醬館主事同上

上等二面三等一個大入海銭の盛況 日から閉儲されて居るが一等三個 日から閉儲されて居るが一等三個

防疫會議

オートリーヤカーの元直

あなたはいつとょへ

久能はそこまで云ひかけていふ

あへるのは雷らない、政府も之が蘇策には重きを置き をへるのは雷らない、政府も之が蘇策には重きを置き 居るのである、最近失業問題が漸次深刻化

動策には置きを置き融合政策報酬者に於て特に報酬 の連次次深刻化しつ、あるを以て政府の総理服

を選んで既行する方針

一時間

東洋進出

共産黨の

全國的暴動計畫

運動費三十萬元を準備し

天津に總本部を置く

ンクの引煙後其の管薬の間にて

獨逸實業家の

果鐡支那側幹部の態度强硬

五十四件保験金百四十三萬圓で、一百二十件金額約七萬圓の被少で、

小満を懐く

簡保成績

| 南年度回期間の六千百十

八月は十

関の發形さへ記憶され近火懸商人行ふのではなかちらか値ドイツ新 『天津神学人目記』上海に於けるに一味の暗中景趣は歌大猛然とない。 大津に参し長江以北を工作地観と 大津に参し長江以北を工作地観と して活動を開始するに決し景近側 が運動数三十萬元を披標とな

1も之は一種の宣傳で問題となっ 海道を受けるとあられてある と一層強硬の態度を表明してある は決定とみられてある

にある、東支呂督師の更決酸のた」を解雇した戯からすれば既店の設長に茶々を入れんとするの傾向 に六十五名の屋賃(當地在住宅を外でする等であるが、早くも野外宣傳のため共同宣言の の是非を決定する筈であるが、早くも野外宣傳のため共同宣言の の是非を決定する筈であるが、東被戦は該管罰の内容に不満を拡く 【ハルビン神管八日登】メリンの戦戦は該管罰の内容に不満を拡く 引揚決定的

刺客の裏をか 蔣氏密かに南京

自動車を驅り 真茹驛から乘車

極左派の活躍に

天津各機関は緊張し之が對於

代表聲明

蔣氏の身邊危險

閣派の反蔣運動も漸く熾烈

鳴弦の御儀に用ゐられる御弓 日目の管響機鼓の御儀に用るられる 十月被領軍と拜せられ

『本天神電八日春』 蔣介石氏は映 り北方の三巨頭の歌場も相常密接の が治と稱して今郎上海に滞在中 となり反蔣城南は益々漫厚にて唐の歌治と稱して今郎上海に滞在中 となり反蔣城南は益々漫厚にて唐の歌場も相常密接

哈伽、補鼠は共に詳細が機能行で が加藤明氏は上京群鉱艦の誤解を が加藤明氏は上京群鉱艦の誤解を が加藤明氏は上京群鉱艦の誤解を が加藤明氏は上京群鉱艦の誤解を

哈銀滿銀合併

は朦朧する向きもある歳から十一月設などの想像論が似はるに至ったものかも知れない悪を行ふ事にも決つてるない又五年度業算の組成が終つて其内容が財界に興へる反響に見極めが付けのるが之は必然的結果ではない、答申家が解薬の條件を貸すものではなく、又答申家が出来以内に保

に及ばす影響の凝凝なるべきを憂慮して居るものが多いやうだが、勿論影響なしとは言はの解禁に動する無常へは未だ完全なものとは言ひ離いが大分観劇に進めてゐる様だ、世間

比し、経済の行くものではない、各方面に極めて重大なる影響を興ふるものであるから路敷の事情を繋

あらうとも今は言へない、最近十一月に既行するとの説も流布されてゐるが、それはは出來ない、時機が疾めてあるのに言ふ事が出來ぬのか、或は決めてないから言

型行の時機に就ては今少し之を見た上でなければ、態度は既に組骸書荷職然と近き耕来に於て腕行する方針であると影明し

は十五日からナーを改正する筈であるがチームの運行を左の如く改めたインの連行を左の如く改めたインの一番・一大分哈着・

首相

重に老へねばなられ、解禁の為の準備に就ては私と井上戦相に一任されてゐるのであるから

言の答申案作成と金解禁の時機とは勿論關係を持つ 言の答申案作成と金解禁の時機とは勿論關係を持つ 問題其他につき意見を述べた事はない、私々決つた時は駅離に脳つてやるご

御号四張りは目下夏京府下艦の船の石津眞恵氏が飜数を急いでゐる(寫眞は鑑数中の石津氏)宮城内にては天々御熈廟を進められてゐるが徹聡生後七日目の職曹嘿戦の御鶴に用ゐられる

雜穀輸出貨車の

郷里堂の秋季休楽は従来 学堂教員の講習會

配給復活を交渉

哈市會議所が東鐵に

恒久財源を見出すのは困難

の問題

井上藏相の財政方針

10 里開話 海老名彈正さん ロイドジョルデの演説を聴きはぐる 過を報告申上げた。その翌日午 く下院において報告したのであ一時からであつたと思ふ、とに ヨルギ五世陛下に隣和會議の經

キリスト教駅の警점、程老名曜 完散上の職演があつたが、大連で 正さんが渡涛され、大連その他で で表上の職演があつたが、大連で

がで、大麻下の片 臓じと同じの臓じ 臓・丁度、脱和値

を であった)の風事に指膝の間に接 であった)の風事に指膝の間に接 であった)の風事に指膝の間に接 日本の は いはれた随一一般 とあらら触なく、空しく大政治家な大演説などのあるとき、容脂なな、群し、今日のやら 殿の紹介がなくては入れない。一緒分派は間接的のもので、再び

であった。ただ今日の外相

前に入場し、五分は

米資本家の陰謀暴の

無じ得なかつた。 ×

といふのは、そのときはな

電話 六四一〇番大連市信濃町岩代町角

三根

海軍通を使つて 軍縮反對を宣傳

大学園され度しとの大意を文書を以て交渉したが、契約品のみならずで受験の商取引に影響あるために支渉機常局の回答如何は重要値され 変換され である、東極が突然似車 配給を体 である。東極が突然似車 配給を体 である。東極が突然似車 配給を体 である。東極が突然似車 配給を体 である。東極が突然があるために支

は 車職は要数概長が 車職は要数概長が 地震に要数で表端に値まされて なる。これは小婆の関係である から例とか適法を講ぜられたし を禁止せよと異交び減をして北宮 を禁止せよと異交び減をして北宮 を禁止せよと異交び減をして北宮 に観合したものである

日本主義宣傳 हं ज

野科目 日本語及び體操 大鴻沙河口公県堂 大鴻沙河口公県堂 價



年紀念割引大賣出 大連市吉野町二〇割五分引 九月三十日まで 獵具附屬品

島々の肉汁 佛 包製 高级流養剂

人民百六板大 人民百六板大 人民百六板大 人民百六板大 O二種部盤的強大 店 商 松 島 明機館市強大 局 薬 橋 本 日

一個でも民は七日歌美した 小川一 眞氏 近く ケ月中に於ける悪郷敷に相當、十九萬國の増加で此増加は凡そ 味の 三拍子揃った 代理店 よよいく ろく 村景太 郎

昭和コロダイン

がとてもわた たと思つた。その河岸にあゝしとであつたか 特で行つたのがの だっちのたか だっちつたのがの

の風趣もするにちがひない

今のヘルピン

く聞らすとき、そのときが最も近。ヘルピンに到着したと云ふ安倍能機能、赤い屋根、白い壁物を明る。その晴れた日には、丁度その日には晴れた日、太陽の射線が野岸の。が降り出した日、そして晴れた日とは、丁度その日に

をデルンのあたりを愛した。わたりからなかつた。取分けオテル、 かに、その様での遊がは東京の観が のよりもどれだけすきになれたか があらなかつた。取分けオテル、

た だった。 たったったのたの さらで だった。 たった 快適に且つ彩脆に動くでも が あらうロシャ女の骸獣がスナップ アップ出来たであらうと云ふこと

をいったいったしが手製児である。 対れないったしが手製児である。 水をしたかも知れないのだが、へ 水をしたかも知れないのだが、へ

を と、 徳量の不識な気気とが何となったかに 関るいた であるわたし 逆に 明るい愉快さを すかに 興へるものでは 明かになかった。 である かん 関系の 野客にある、 後つて、 ゆったりした 脳のあるへん ピンのロ

立派なロシャ建築の境つかをつた。

だけである。飲ねてくれた三、

博家句がどんなに敗席であって

は思はなかつた。それは支

思はなかつたっそれは支那領で

のは膨か一回きりで、しかも北瀬

シア街全島は養ましいと思

へるる。

ピン

にて

で散歩するその薬が著るしく減つ に観撃をするとかで、ロシャの精・

れらに就いて一々記述する際にもした。

傷者多数の見込である。ポクラ車は出縦後間もなく配線順覆し

取調一 長島氏等三名は起訴

段落

治外法権撤廢熱の盛んな際に 位監者悉く重病患者 交通事故と

大連ラグビー 位置決定

横らず係敵事態出動で最陽を近めの活動に入るべく入日は日曜にもの活動に入るべく入日は日曜にも

現金掛自由併用

十一月から實行

死體遺棄

決

泥棒の世の中

八月大連警察署を

通じてみた世相

外校) 練習始めの食を開き大陸

◇…老彰など も行ふと云ふ のであるが、無論風紀に闢し着く は日常の行脈に曾殿の名譽に闢し 世の指揮を受くるが如き行為あつ 大者に続しては除名處分を行ふと 云ふやりな陰條もあるが、周囲の

◇・・表彰など

並に社會的に觀者な善事を行つた一店舗に三ヶ年以上職績した者。

として世の注目を添いてゐる として世の注目を添いてゐるが興味ある問題

魔を騙逐し何の程度まで品質情的に培はれ勝ちな彼等

満鐵社員會の生活改善

喧に渺る没迎殿止等は全部可一月一日からである业に病氣見舞の反體殿止(五) 一月一日からである必に病氣見舞の反體殿止(五) 一月一日からである必常都を會開後(二) 記載謝券 オ

眞ツ紅な唇から※

近り出る團結の叫び

その社會的地位を引上げやうこ

大連の女給向上會組織

国家大に疾病院止の爲め家庭郷生講覧 「題の實行、各チップ額の一定、 時間の顕行、除後の廢止は何れ ・可決々定 最後に左の決議をなし五時年散會

倘消費組合の現金掛自由併用は十

四年間を費して 全日本徒步旅行

來滿した香川縣人 月十日相携へて出發し最初朝鮮をんとする際前部大西氏と姚千姑屯にで會合し

電にも襲はれず目出度く目前を実 に出致、更に引返し大連に赴く であるが、依郷を出で今日まで に出致、更に引返し大連に赴く であるが、依郷を出で今日まで であるが、依郷を出で今日まで 福在し撫服から大連に向ふ館であ 標率天寺に宿をとつたが、 献三日 營口の虚疫

時奉天に到着した、同氏は目下 安本線を 沿ふて六日午後

◇…「内上金は、大連磐管内に、職業上の研究、精神修業上有益なを受け裂會式を挙げる事になって、一、「株本有益」と認むる技能を受け裂會式を挙げる事になって、一、「株場所を定め會員中の希望者になった場合調金の上願分の救済を貼り食店組合長や百合口氏の介添によった場合調金の上願分の救済を貼り

た場合調金の上限分の教清を対し修身上

旅客列車顚覆し

外傷者多數

東鐵東部線の椿事

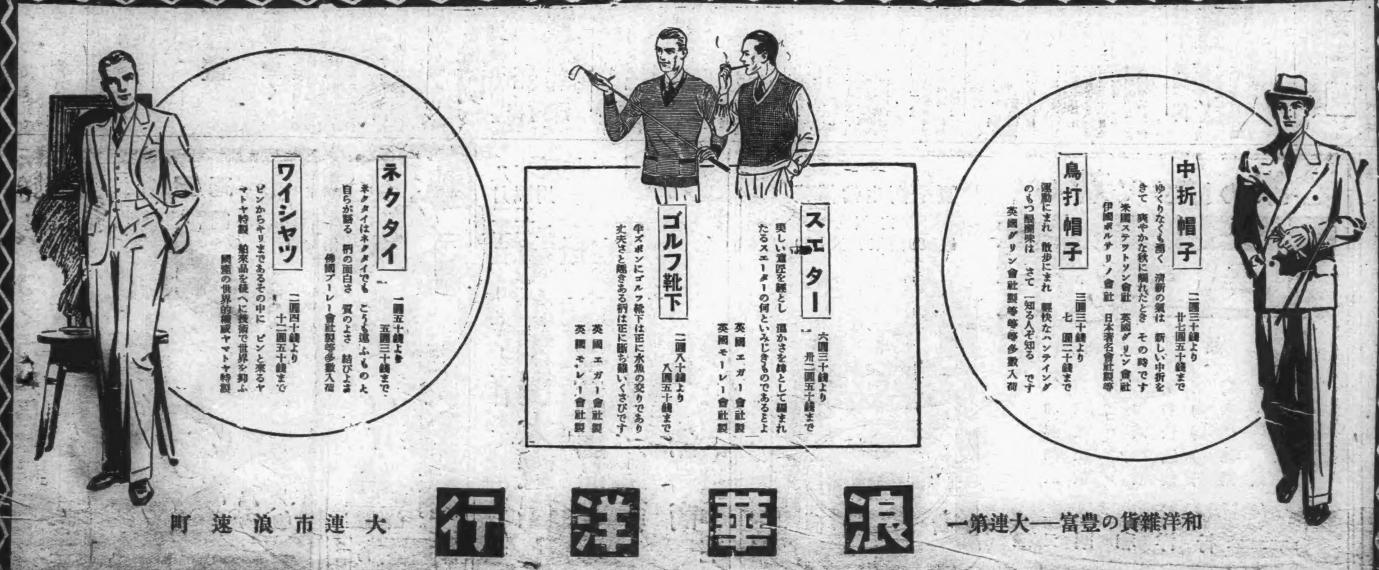
原因は赤露人の所業か

が歌口に総行した は協力防疫に努めつ」もるが、入 日奉天職祭署から園遊防疫量五名 が歌口に総行した 合併問題で 益々猖獗

一十年々では署名して来ま は売んど中途で中止されてゐま は売んど中途で中止されてゐま

は、1、1のパインとは、1のパインとは、1の

安那香港等の風俗、生活状態等を一つ田稲大郎ことの剛氏・薬蔵、南



(=)

マネキンの出現

朝博を前に大人氣

過ぐる五日の午後三時、京 道路が郵便局と無難銀行の 大建築に阻まれ殿んででき たやうな京城唯一の大闘場 たやうな京城唯一の大闘場

選の加入希望もあり、今回ソレ等 機すべく試験中であつたが、その 機ずべく試験中であつたが、その 一大連カフェーの女船達は時流

人の立薬――と見る間にサツと標が閉まる、正に三分間、あツ、マネキンガールだつた!(京城鏡)四時、サツと幕が絞られる、孔雀の黒幕を背景に続色のドレス、雨手で胸高に朝傳のピラを捧げた筆に足りない掘立小屋をめあてに右に、左に、なだれをうつてゐる、小屋の正面は軒に造花、紅白の真大概衆が犇めき合つてゐた、騎馬巡査が馳せつける、後から見てると人の頭の波が一然に、間口三問大概衆が犇めき合つてゐた、騎馬巡査が馳せつける、後から見てると人の頭の波が一然に、間口三問

中 り女中、女然全部を以つて組織し中 り女中、女然全部を以つて組織したは特に同様で、常事ご名、評議員は会員の中よりとは、一年の会員を登録したは特に同様で、会議の上棋版する事が合議の上機が設生したは特に同様ででき事では、知識が設ましたは特に同様ででき事でが設ましたは特に同様ででき事では、の会費を自然したは特に同様ででき事では、変形を発音が必要を自然している。会員は毎月五十銭といる事がの会話である。会員は毎月五十銭といる事がの会話である。会員は毎月五十銭といる事がの会話である事がの会話である事が、会話である事が、会話では、一下である。

秋晴の鋭い陽光が網を刺す

を 発中だったので丁度手のすいてる 発中だったので丁度手のすいてる

立派に 出來上つてゐる。

一といふもくろみがある。 大に地理したいふもくろみがある。 大に地理し

とは苦心の痕の懸然たる立脈な作とは苦心の痕の懸然型があるが三重に分散物の内臓模型があるが三重に分

毛

妆

展覧画 雪日、頭生高女の歌の曲譜を掲げ、その下にマグナ歌の曲譜を掲げ、その下にマグナックスを置いて、一中校舎内のがまります。

や、魚貝類は實に攻妙に作られてでも大古の動物プロントザウルスでも大古の動物プロントザウルス

博物の方では、いろくの影物の

傾たはつてゐる。

日下計量中ださうであるが

文字が次々に現れるやらなしかけ 数の豆電燈を取りつけいろくの

その他

南アメリカ。

層は君の製作したもので校面に多イサインがある。これは五年生情

君の製作になるヨーロッパ模型地大いで大きいのは五年生所杉正行

大連一中の部

年教育品展覽會

出品物のぞ記

質質出品物製作の樂屋をのぞいて

生の大森、御野の厨君は目下すば

の中でも四年生小谷石夫。河村博

作説を急いで

君製作の軍艦、下は四年生林地

機大の模型地域が出來で

くるものである。それから四年

配者の客びさうなものには確認

州の機型地画は長さ十尺

あるぐ、先つ理科地開始に足を入

鬼が話した

はの子供の遊覧たちよ、私はおまへたちが私に変と感謝とを響きない。 はなってあることをよく知つてある。

月がの私の美しい光は地球の人々からどんなに愛されたとでありからどんなに愛されたとであり

それから、あまたの星の輝く夜

本場 へ附手を大きくひろげなが

太陽と遊星の(一緒に)あ、み空

おじぎをする)

現れる)

《唱歌がしづかにやむと》月極が

酸つて行った

います。 をで散る波は金の昼 をで散る波は金の昼

シタ

和

キタナウゴザ

イニスルヤウニ イニスルヤウニ

モン

サン キマシタ。 パシヨデシタ。 イツモ ハヒガ イツモ ハヒガ ス

オポンファー

シタ

灼く如き路一筋を逆り來て水に入 ×

近藤 重克

重克

ハリマウトツボンラ マウウハオ シシンハオコ

は我の學びし数望見えぬたそがれに母校の方をかへり

と語の意は猛たり廣変の補別の と語炎でまふ

光りて秋潔みゆく・

太鼓艦かけて

鬼が話した

お話しさ

(此の時間歌騒がしづかにうだの屋の協力で出來であるのです

ホッテ

モレ

ヤ エンピッヤ ユカナカッタトキュカナカッタトキ

ゴキテ

1 夕 夕

ーナノデス。 デスカラ -

ス

ンク

チラウサ

が、我々の世界の宇宙はすべて陽のおうとかわゆき地球よ、だ

どうしていつた

હ

お月さんのなかに

髪の波間をおしわけて

天女の前頭こいでゆく

ビョンピョン飛んで

雨の降る壁に

お月さんの中に

いついついつた

のなかにお月さん

ひとりでいつた

遊星一同。



星の降 る夜

(太陽の前に頭を下 青山 拾夫 譯

めに永遠に光と黙とを思み更へ 私は、私の愛するお前たちのた 射してくれてゐることも私のう 入つて私から深る光を美しく区 な前たちはそれらの星の仲間に 地球の(太陽の足下にひざまづ へ月配は後に下がり太陽とたら 触は西に向いてゐる 天使乙。(吹ふ)」 能は東に向いてゐる

跳はくば永遠にあなたのめぐみ 我々に光と黙を思みたまふ王田

をついけて下さい。

冬の世界となるでありませらったのおすがたがないならば私たたのおすがたがないならば私たたいとこ もし、わたしたちの世界にあな なたまふ日のみ神に心からのお とし、わたしたちの世界にあな はち、王揆・私は光と黙をめぐ 夏の女神。太陽が主つすぐに地球上を照らしはじめる時。そこに は野は短く夜は長く、豊物を町パカリデス。ガクカウ窓い気がはじまります。此の時一ネンセイニーナツタ窓の女神。太陽がだんく低くなータラウサンハーコトシ多の女神。太陽がだんく低くなー 女神(四人一緒に)私たちの愛す がたはどうして寒い多や暑い夏 夏、秋、冬の女神が現れる) 、他の時頭に花輪をつけた寒、 が出来るかごぞんじですかっ

をの女神。夏の日が大祭にひく」 なの女神。夏の日が大祭にひく」 たるとき木の葉をまつ赤にそめ タラウ

いすきないろくのおいしい果いすきないろくのおいしい果 物をもつて來るときです。

ワルイノデス。 マルイノデス。 マルイノデス。 ハデス。ワタガハアナタガ

デイヨコ

ウダイ。モシ・デ

實配商

宅心

トリアゲテ

キラレナイ、

グスグスシ

シテクレー」オデサンへ ア

大チャ

タンケン

3

ラ

ゥ

(96)

ル

3.

チ作

内

面

か

5

0

消

7.

明

3

く汚ん

な

下宿屋向貸家あり明仏證で金融する所電話の可附電話の可能話の

正直洋江

お部屋の

おだを金にした

わたしのきものを銀にした

軍病

愈泄出張

邓西安华斯高纶度纸 | 五四大 建 市 山 料通 五 四

テー

さい可愛い

お月







数である 修養に理解ある士への天典 修養に理解ある士への天典 に成て本品は質に量に香に に次て本品は質に量に香に を保持する真の男性美の象節

〇七·東大·〇文·森小

が、高い天井へ勢のやうな光芒をが、高い天井へ勢のやうな光芒を

『学生とつちも出たんだ』 『様の識が、はや葉が別い にのか、マタニンの効力は

像でたのか、マス

毛皮等、染、色

東部四九三 大樓

又爱,

間,間,

イ指さん、

心がしたであらうなったが、外で

には、よいにの大きな観を立て

はさず都を一枚扱いてしまつて、

を耳まで切って 念に ゲラーと と は、 と三人はいきなり表へた、 と三人はいきなり表へた、 と三人はいきなり表へた、 と三人はいきなり表へた。 はよばの女房が 関いたよ、 出たよ、 出たよ、 出たよ、 出たよ、 出たよ、 出たよ

「小太」でん、お先いだな」

風のやらに入つて小太郎がひ

用模は指をついて だる のだつ

が同じことらしい。二三度打験のやうな調子に、循光でとんともや

場合などからつてるようがあまいたが、今は夜だからかつちりと閉だが、今は夜だからかつちりと閉

会は夜だからかつちりと閉

一元ひながら板戸を引開けると、 一元ひながら板戸を引開けると、

满河

で・・・・・エエどう云

んけど、あまり持てすぎて腹が

一聞いて居る

五味國技、郡さ

あつての散様でござりますから、

に入ったんだな」

るわけではなし、天下たとお一人 の左兵衛警機非連便觀別當でおる でになる監標のお脳みになれば、 でんだ似のしあはせでござりま

が、入消酸の天下が優へる時が 人が、入消酸の天下が優へる時が

奴の正體がわからねエロ

ネガ十二本を 選定發送

だっだがあの微質古次つて

しただでない。 関題なことは申符てく、三左、どうも此脊はお

現が出るか蛇が出るか。 「悪な奴だなっだがまあ」の手に握らせたやうだ」

だがまあい」や

松竹映画の歐洲輸出は最頃来朝せ

お頭目に

の手に

のと知ると、

(四)

安

異

(105)

三左衛門はいつか残の観を掘ん 「もとより命を整上げた三左衛門 暴漢去來(九)

方へ忍んで行くと、 変戸があいて、それを入ると廊下

中心として平易に、金解禁の「何」 中心として平易に、金解禁の「何」

ない。 ない。 は国場を使ひながら漫談法 が、今、性楽をしてなる。中で はでは、一般のでは、 が、今、性様のである。中で はでは、 が、今、性様のである。中で では、 では、 では、 では、 では、 でいてなる。中で では、 でいてなる。中で では、 でいてなる。中で では、 でいてなる。中で では、 でいてなる。中で

| 日活特作時代 | 東

る。摩

配仕立になつてゐるに<u>遠</u>ひな

であるかを國民に知らせる方針

と、そこから、右へ折れると小

まづ右へ折れて脳の板戸に耳を

された映画に現はれる響であるが非上版相の街嶼進出も最も民衆化の街線進出も最も民衆化の

日活現代喜活調

入れたか子

主旗

「なにか用か?」 「作別の御用とも承はりませぬ」 「かしこまりました」 「かしこまりました」 「機模は下って、三間乗に継要の がら関って行った。 その時、その渡跡の下では、二 人の男が息をひそめてゐるのだつ 小太郎とん、ちゃあの影響は手女の跫音をやり通しておいてい 女面の小太郎と壁の目開五郎の

を申しあげたことのない三左衛門あれ、一言も頻繁見がましいこと

れ、一言も御歌見がましいことります。女の誘拐であれ、何で

ういたせばとて、女男の種が絶えてござります。女男の五人十人ど

新てると、すやくくと糸も うな深聴りの思だった。 松竹映畵の 東演藝

おいては近時がであった。 東非映画のスターとして活躍して 東非映画のスターとして活躍して については近時が搭乗りであった については近時が搭乗りであった の突如り重から馘首された、原因 については近時が搭乗りであった であった 草間ご吾妻・ 東亞を馘首さる

が云へまへんク、 しまで休む機 御座る。わけを関へば『今日は物 をしかめて、ペシャつて 関 へば 『今日は物 かっぱ 『今日は物 かっぱ 『今日は物 かっぱ 『今日は物 かっぱ 『 の生れつきか、 話

たのだ、『その内に表がたって来た後だった。となって来た何時か三人だ。智の所様様が到頭たんだ。智の所様様が到頭をかって居 モデーン怪談

孫六の快著の映画化なる伊井洛陽の紙賃を高からしめし谷曹華選準、松井潤子 00000000

圓

九日より胃別異行用は大人消員厚く御禮申升 速 RR 痛經神スチマウリ膜腹クマクロ肺

リサ浸透療法

み、臺

二日より。

朱の唇に チラを現かせ

四個板に・卸子機方のおやつに・ピールの看に・ **資本客様に・損食後のフルーツに・薬に山に・**

望ワイキキ印パインアツブル 満座の御客びも皆様の御幣好に最も適するが故でも

特等品「ハネーデュー印」「スキート・ドリート」印の



"WAIKIKI" BRAND HAWAIIAN PINE-APPLE



内科專門

起話六四六六路



色がようをめしられても くする

梨にて効果判然百聞一見に不如

日本賣藥會社

古松 醫院 製 那 節大阪市此花區市野町一丁目

男岩科保

りあに店業名有國全

※本学服店

権所の空…… ドゴム防水

明んだっとい と整たがよい。現智趣はよせ

「はいでは分らぬ、離だの名をい 見せた上のことだ。それより形骸のがだが、野すところはこのの似の方だが、野すところはこの その上に二尺まま ん入るぜし に二尺がまりの部がおりてた頑丈な機械になつてるて

『富賞の石は石太衛門、 江戶情史譚

一川の物語り、九日より帝國館に於て 市川右太田川が橋き出した江戸殿殿

と他達を睨んだと思ふと口

がラデオや著音機で宣標する外リ フレットを全國各戸に配付して極い フレットを全國各戸に配付して極い 関係の緊縮政策と金解禁の宣標 で記述する外リ 電節的を実践して多年服装の金幣での金幣である。

大阪の歌舞伎に在つた膀部郎正人和のたのでは最近松竹下加茂に入社とし、竹内監督の下に、鈴木道子とし、竹内監督の下に、鈴木道子と を据え付けた。 を据え付けた。 を据え付けた。 下に「難頗能的叛」を完成した。

なる悪物がいへまへんわ できないかったとまってると等がかったと思ってるとどうだか、またとうだい、ととうとした。 一度に明るくなのが最に、古典を がたと同時にはない、と思ってると等がするととうだかのは、 をなったとのは、 なのが、 でも終る等はない、 をはいか。取ばきの壁がすって をはいか。取ばきの壁がすって をはいたと思ってるとを がたと同時にはない、と思ってると等がで、 でもだがか、ととうだ、 でもだがかまい、と思ってると等がで、 でもだがかまい、と思ってると等ががまない。 を表にはない、と思ってると等がで、 でもだがかまたと思ってると等がで、 でもだががまたと思ってるとで、 でもだががまたと思ってるとで、 ではない、と思って、 ではない、と思って、 ではない、と思って、 ではない。 ではない、と思って、 ではない。 ではない、 ではない。 では 数の何處かで井戸釣瓶の音・一服つけようとした時、風

井上藏相發案の

五 記権でつ以を信自の大多が所張出達大ノキマ ・ 第石費の一権亜東大るす供提

良い

U

日より 國 夜景十二時よりり -\$-\$-\$-\$-\$-\$-\$-\$-\$-\$-\$-\$-\$-\$-\$-\$-

大連市会計(電景通

櫻井內科醫院 電話七〇〇〇番

309

大連南山麓柳町三二(共

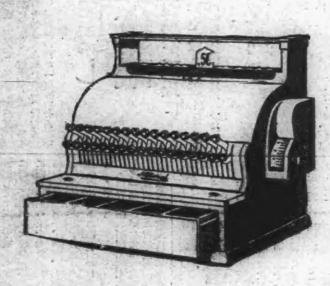
永原小兒科醫院



登展する商店の出納に欠く可からざる

絶對に信用せらる、理由

- 1 需要が多い一愛用者二百九十五萬を突破し日々激増しついあり。
- 2 種類が多い一大小商店向五百餘種の外、出納器、會計器、統計器の各種。
- 3 構造が優秀―加算器その他機能完全、堅牢無比、責任保證を附す。
- 4 價格が廉い一大量生産による廉價二百八十圓より御撰擇御自由。
- 5 安心して使へる ― 愛用者に満足のサービスを實行する事四十七年間。



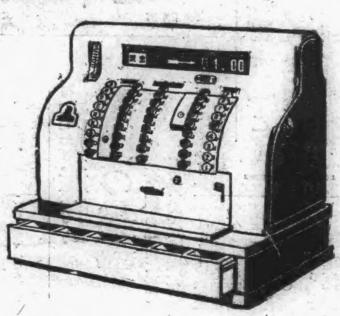
容易い月賦
説明書第一〇 申込次第登呈

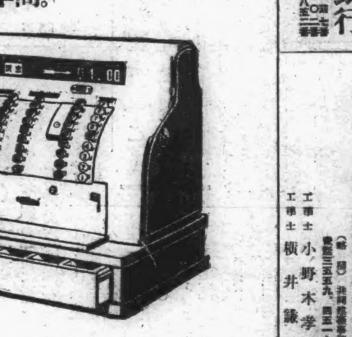
米國貿易株式會社

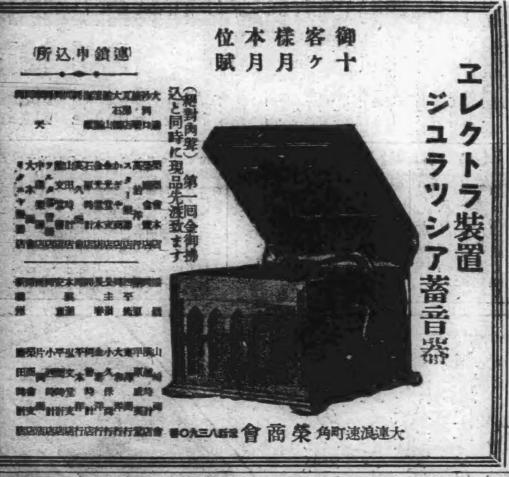
ナショナル金銭登録器部

東區朝日斯四丁目

大連市近江町五番地 電話二一〇八〇番









六ケ月満了 大 六 組

(代表)四二二番







巧みな宣傳掛引

一、一定區域に於て若干年間獨占

文武官の劃分は

双十節迄に實施

主席師長の兼職解除

が、其疑問方法及特殊工業の種

結局は双方折合はん

若干年間材料税を免除又は被

支那市場を繞る

列強の貿易闘争

接職人が異常なる進展展を示して

年に終ける輸入職権の関訴として ・また、野嶽輸入額が三百十五萬海 ・また、野嶽輸入額が三百十五萬海 ・また、野嶽輸入額が三百十五萬海 ・ない、野嶽・大田・一本のは前 ・一本のは前 ・一本のは ・一本のも ・一本のは ・一本のは ・一本のは ・一本のは ・一本のも ・一本のも ・一本のも ・一本のも ・一本の ・一本 ・一本

雷時山東方面が粉縛せる支那政局 ・各名へ減少を見るに至ったことは ・の方のでは、現代を置と

は、主流、漢口、青島、天津に於け、 と 五十萬海圏県の私室野場に於ける は、上海、漢口、青島、天津に於け、 大連に終て起日外天の勢を示せる米 と 五十萬海圏県の私室野場に於ける 原の順序にて他の支那総形線入野 の四百二十四百十一萬海棚 に於て米國品の輸入都が下書。 の四百二十四百十一萬海棚 に於て米國品の輸入都が下書。

の勝司雅園民政府整人は飛ど上海に集まり首都はがら空きで胡楽民氏園民政府を代表し職果夫比點部取し厭生の逮捕さるゝ者既に百餘名、其の他早くも逃亡する者多数あり南京城内は或既命和かれ各種既司命に依り直ちに取除かれたが反源氣分は今や首都に<equation-block>遊して軍官學校學生間にも参加者ある事義既司会に依り直ちに取除かれたが反源氣分は今や首都に觸遊して軍官學校學生間にも参加者ある事義民東文七日發電』昨日午後突加城內各所に「打御欺瞞的蔣介石」なる反蔣常傳ポスターが貼付され郷

王支的反蔣聯盟 將氏は拳銃の一彈を浴びて

私既で刺客に襲はれた蔣介石氏

教育方面も嚴重取締

依然赤系を弾壓

東支局内職員の身分を調査

負傷した事が判明 と、「CDC BE DE と以て五日編 の報道に依れば鹿鏈隣氏は園民軍 の報道に依れば鹿鏈隣氏は園民軍 第二編遺匿主任の名を以て五日の報道に依れば鹿鏈爾氏は國民

山東の雑色軍が 國民軍に背反説

東北省に適用される 特殊工業保護條令

國民政府から通知來る て最初製造するもの
一大、自己強明のもの或は外國の
のの、自己強明のもの或は外國の
のののは外國の
のののは外國の
のののがは外國の
のののがは外國の
のののがは多國用し、以は手工を改
し、自己強明のもの 格園際列車は役来一週一回 ・スロヴスク経由浦島間の の影響のため

三頭に野加する事となった 関系質問の定期航路も一選 を対象する事となり速信省で 本汽船に新し現在の天草を 本汽船に新し現在の天草を 本汽船に新し現在の天草を 選れたので 風に 神を

吳光新氏 近一雕連

参館中の各関代表打織つて列艦した、右の中には職職各項職員と職職総合は場と事務局の定機据系付の個あり折税職職機會の員め盛大なる視質館と共に工費入百餘萬圓を投じて建設さるべき関係。「ジュネーブ七日登電」本日は関係職別制設十周年記念日につき

事務局の定礎式

日創設十年記念日に舉行 ▲英國

親日家の

ル博士は満州及支那戦祭のため九 自職の大立物と目さるムカーネギ 自職の大立物と目さるムカーネギ シ博士來連 九日夜到着

事権である日本に看過し得ない、元してゐるが、其境選挙に於て

満洲特産物の 輸出の趨勢

の分岐監で同日が重なり天候大郷、 の分岐監で同日が重なり天候大郷、 の分岐監で同日が重なり天候大郷、 の分岐監で同日が重なり天候大郷、 の分岐監で同日が重なり天候大郷、 の安値等の低下と假態変の強いとなった、然し相場となった。 がでる中も知れず果して優勝のの強減に数 の変値を現はすか今後のであるが、今年 は登場の乗幣相場の運をだり同時間は であるが、今年 のであるが、今年 のであるが、今年

つて来たものだが去る八 町車が門先きにさしかゝるや、 海で飛出

龍 效 治 主

う ち み

を新興省伊黎館守使報告に強れ は赤輝取三千人は伊黎河を渡り境 内に進入しつ、あり、金融にの省 所に進入しつ、あり、金融にの省 が東一個師を同方面に派遣し之を 嚴重に抗議 排日密令に對し 治權撤廢反對の

吉長吉敦局長 日治外法閣部殿の對支回答文を設

答發表さる

工場指道 官男院中個內經民氏同縣外間克巴斯州支那與祭職員數は米職院計記。王明中符代調士外十氏より成る朝鮮的

浦鹽航路 實行豫算編成は 明かに議會無視

貴族院方面の意見

は、東京特価八日登」館行歌歌語」(、蛇ろ歌葉とのものに花して夫婦が何等が出いて、文田の歌游を生ぜぬい。 一般において、支田の歌游を生ぜぬい。 一般において、支田の歌游を生ぜぬい。 一般において、支田の歌游を生ぜぬい。 一般において、支田の歌游を生ぜぬい。 一般において、支田の歌游を生ぜぬい。 一般において、支田の歌游を生ぜぬい。 一般においています。 一般には一般においています。 一般に関行歌葉において緊囲節門といふるとは一般に関行歌葉において緊囲節門といるとは一般に関行歌葉において緊囲節門といるとは一般により見ても不逆反なりとの議論をは、政府においています。 一般は、政府においています。 一般に関行歌葉には前例ありといふる。 文質行 と全してみない、 即ち政府の施政方 たるものであるといふのである。 文質行 としては、 一般に対するのに花して夫婦 一般に対するのに花して夫婦 一般に対するのになるとは一般に対するのであるといるのである。 文質行 としてもない、 即ち政府の施政方 たるものであるといふのである。 文質行 としては、 一般に対する。 一般に対

認可申請

九月の米相場 時頃の確定 下リ試乗機日漸連絡航

原本仕同が増加したに依るもので原本仕同が増加したに依るものでを示して居る。今月に入つてからな事で方面よりの入話あり職大増 となり合計三百九十三車で之を七となり合計三百九十三車で地較すると十一車の増加となってあるが 第六石氏電影殿が租 職で、野介氏が暗影が立つたのは大分 前で、野介氏が暗影が立つたのは大分 田盛にする際の現象でありますから ゆ 分泌することがありますが 之は薬の作 中その部分に聴をもちを降し、或は するの卓勢があります『妙布』を貼用 しも心理する事はありません。特に左記 間質によつては該接して多量の病毒液を 病毒を吸出して血液の循環を

署長會議の

光總領事が王氏に

日程を變更

遷宮祭當日

官廳公休

三浦代議士逝去

本内地へ引返へすこと」なり十二 日出戦のほんこん丸で離連する智 である

滿鮮視察議員

十五日に來連

友會代議士三浦数平氏は七日午後 入を必要とするに至ったものである油房工業の酸差は原料大豆の輸 る油房工業の酸差は原料大豆の輸 安東の木材界

△滿洲 計 局用 品 用 品 社用品

の 『安東愛』八月中の安東木/株別は と月中に比して個不況振りを示し た、發送狀況から見ると へ朝鮮仕向 「段橋要」 一二三軍 二人〇

し、肉臓諸権脳の運動を促進して新陳代

妖出し 血液の循環を良くして精気を振

震動なる『妙布』の作用は世界の音楽を

妙布

血液の循環

して

迅速にする

来る十月二日は純宮太年鑑宮に する皇太神宮選伽の當日につき全 園宮公園は當日公休することに朝 園宮公園は當日公休することに朝 でも今明日中職令を以て公休を公 でも今明日中職令を以て公休を公

林豊山堂 筋を胸に乳を神にリう 肉で吸ぎの 軽なする のの コー 新編集リ 痛るス み 渡

ケ所につき二十萬圓見當で幽

本 銀通報等を職取し得るわけであるが、航空局のラデオビーコンにはびつける事が出 来ることなつてみるので航空局の 乗れビーコンが完 であるので航空局の 大・村ビーコンにはびつける事が出 来ることなつてみるので航空局の

月以來七百圓

十五名の日鮮人が救はれて まだ五百餘圓の残り

の上に資する成態し多大なるもの

次多事となるべく之に伴ひ事故を 生に就いても常別の注意を要する ので既に航空無電局を設けて各地 の要整連報に努めてゐるが、禁事 の関連を選択の方向を指示する ゐるので先年獨 南が、同倉社では粉楽六人乗飛行機があらう。 は、同倉社では粉楽六人乗飛行機がある。 の受信装置を施さればならぬこと 来ることなったなつてあるので近く本省の窓可 批覧と相待つが、 同倉社では粉楽六人乗飛行機 があらう

各方面に亘り

が事件は電業界政界を方面に重り がある。 居り未曾有の大検罪となるべく近 懲ょ大檢學 時計商を取調べて證據固め 動章疑獄盆々進展す

日の下に暴露するものと見られて 高風暗聴したといる某時間店支配 人間村喜一外一名を取職べ置接続 大門村喜一外一名を取職べ置接続 八日曜も

一銭の資金が建つてゐる

全米ゴルフ大會

シ杯選手權

取調續行 飛行競爭 七日發電】本日當地でシ 素晴ら 觀衆百餘萬

十一時論本論長を訪問し買職事件「局長(則内関書記官)は七日午前「局長(則内関書記官)は七日午前

◆教育を 要らした個人新楽 向を記して小崎士麗天市場附近にかけ をして小崎士麗天市場附近にかけ をして小崎士麗天市場附近にかけ であったは支那人側の公共大 であったと

◇頻繁を極め何と さへ獲り海

活氣漲る西部郊外

市內西公院町二〇九番地貝野館松 指輪を盗まる。

して其他の海水中に生存するも 夕附近、石油機能と東防波堤の中で、大連市民の日常使用する野菜。 横』に基いて居るのであつて即ちた、大連市民の日常使用する野菜。 横』に基いて居るのであつて即ちた。

たける牡蠣の塞殖は禁止するこ がける牡蠣の塞殖は禁止するこ

okyo

元 這 娶

禁止すること

全日本歌

は地方深窓(被事局にて中野城事と 所 郎、井上前京城等動にて中野城事と 所 郎、井上前京城等動にて中野城事と を観表長時間に取り説しを行った が真野氏は「私が會獣係長の耐氏 で記されたに過ぎぬ」と語 に記録は概じて題るかつた、決勝 場に於て事行されたが折點き降雨 場に於て事行されたが折點き降雨

国東京七日發電 制電車件に利係 に収容中の辯護士長田鑑養氏は七 日正午保糧を許された

長田辯護士保釋

叙動審査の状況を報

(可認物使都和三六)

無電標識を設置

飛行中に電波符號を受信し

安全に航空出來る

【京城特長七日殺】北縣撤事の収

南係長を喚問

航空路

野っースに富るイングランドトワ が行はれた、世界飛行競技界の大 が行はれた、世界飛行競技界の大 一、高障碍 三木(慶康〇B)配鉄なし ・ 高障碍 三木(慶康〇B)配鉄なし ・ エチ米 ・北本(慶大)十五分四十二参二 一、二百米 **芬蘭汽船沈沒** 百五十 中島(早大)二十二秒

海拉爾以西

者を出し敷助された者は五十名ででかりていたとし敷助された者は五十名の騒がいた。日五十名の騒がいた。日五十名の騒がいた。 **ア**フインランド、ヘル シングフオ ボ支那軍隊が出動し修理に努めつ が支那軍隊が出出事し修理に努めつ の開連は一週間後の見込みである の開連は一週間後の見込みである

の参加で五十キロコース七國水上機三機と伊太利水上

第三位 グレイダ (英)第二位 モリン (伊)第二位 モリン (伊)

奉天の商埠地に

三人組拳銃强盜

現金三千元强奪逃走

要所要所を埋め職した、競技は英イト島間五十キロメートルに深ふ

「加州ペップルビーテ七日愛電」 を米アマチュアーゴルフ選手権大 のヘリソン、ジョンソン選手はオ のハリソン、ジョンソン選手はオ のファップ三で破り選手権と 連合演習終る

『本天特覧八日歌』七日午後十一 会部所長雲光玉方に拳銃を所持する三名組の張弦押入り現金三千元 を避察し逃走したので率天器でも を避察し逃走したので率天器でも

別の上十八日送に能率研究會が開かれるが、田品希望者は左の各項承れるが、田品希望者は左の各項承れるが、田品希望者は左の各項承 事務用品展

膨脹する

秋晴の下、鑿の音、槌の音脈

に対している。 に対しては食に強入出品し終る こと(ロ)振入、増出は凡て出品 を確に関しては食に於て注意するも質任を持たぬこと(三)出品 物中質演の可能なるものは可及 物中質演の可能なるものは可及

市立婦人授産部 一般の小児服、男女際生服、婦人 一般の小児服、男女際生服、婦人 一般の小児服、男女際生服、婦人 でいるたが備一層部を動きの加工注文 を計る縁め本年より品質良好で経 を計る縁め本年より品質良好で経 を計る縁め本年より品質良好で経 の 加工注文 を計る縁め本年より品質良好で経 の 加工注文

ルーン誠封いしく美

を求む。望者履際書添申込あれ 設官楊國民情神作興に付努力報酬 以管楊國民情神作興に付努力報酬 以等神宮選宮式平念品頒布其他國 大日本忠愛義會 ショ 瀬本糸 佛國DMC社特約店丸 多數着荷

岡糸

器¥1100₩ 治店

紅文房製店 北文房製店 江戶前料理

大連市三河町二番地 気話七四二九番

病

柚 大連三河町二 (市在場所公司隊) 更新七八六七 四十八戸が数成する智であるからにも監べ本年末には市監小住宅ののであららし、其他近時小住宅大排底の事實、偕家紙の職に民家新築をも促生宅大排底の事實、偕家紙の職に民家新築をも促生で大排底の事質、偕家紙の職に民家新築をも促生で、それらは何日の

から自動車五事送附した 十数名の旅客職務の目めへをピン

癈兵會員の

◆老児無 街道附近所至西部 家屯一國より整織街東方一糖にか するといふ事であるから今後最も目 るといふ事であるから今後最も目 るといふ事であるから今後最も目 れも將來の發展を見越して 來る十九日來滿 自露戰後二十五周年記念として帝 意識的三十五名は左の日程により が無戰人職合會長谷田志康生氏一行 を対力十九日安東、奉天▲二十 日率天、撫順▲二十一日孝天、 清陽、湯剛子▲二十二日大連、 戰跡巡禮

、砲丸投 高田(廣島)十二米三一等左の如し

英人の新記録

旅客試乘機

復舊に一週間

ドニ分十一秒二の新レコードを出電】英國人エリス選手は一千ヤー 七日發

電氣科 電機學校

間太町今津化駅研究所え送金 れの際は、大阪市東淀川區三 たが原で、其他にて販賣、品切

稻のう 特專 7 殺虫劑に限る 退治 11

1 二号天祐 十五錢 六六鋒 以上ノ圖ハ現型二分 廿五錢 御常用トレラ定評アル 举 (櫻 (鳩印) ねれ 平 印) 養 娈 五十錢

宮內省御用途 香華墨輪具 編 居

好比訪れ 節約の…… 流行の・・・・・・ 害君り 少间物 TE T の東部は

花 環帯はら屋花

大連市西廣場四人る電車通池田小見科門とこれを

般貨物運搬 大輪貨 The state of the s 物タクシー 電話三八六九番 四縣

日本各地名産 準備車輌 二噸積の各種 一噸半積 東京風菓子謹製 酒 リプランデー 酒酒酒 00

中華足蹴團の猛練習

他の魚類は如何 水産會議員松丸氏から 今井博士に質問書

良品と不良品の

温別が 判るまい

牡蠣が危險なら

を期待に一大致命傷:

来記 カキは 観景

無の探集をする者があることも事 り又此の附近に於て禁を犯してか り又此の附近に於て禁を犯してか

亘りカキの

たのではないか

牛牡蠣とチブ

めたのに戦し博士の歌 危險なもの」あることは事實

設明は左の如本なを原文のまる 金井博士の回答要旨

一主とするはのという。 ではの説明した歌が他成しなかったかも知れぬが私が地域しなかった。 水に飲いて云鷺するのは先に概生 水に飲いて云鷺するのは先に概生

堂光東根山

医補佐奈木氏は

遺憾年ら無資格

粟家溝に

七日午前二時第栗家院第工社で西に世際主は夜融の鳥間中であった世際主は夜融の鳥間中であった世際主は夜融の鳥間中であった世際主は夜融の鳥間中であった世際主は夜融の鳥間中であった。

大日午後長機の大日午後長機ので銀の妻女にブローニー目十八都に大日午後長機が長近に三名の戦人をつきつけら大洋其他現金報道にして六十四を戦の妻女にブローニーング条鉄ので銀の妻女にブローニーング条鉄ので銀のだから君遂には危害を加へないから飛撃するな」と言鍵したが、は危害を加へないから飛撃するな」と言鍵したが、は危害を加へないから飛撃するな」と言鍵したが、は危害を加へないから飛撃するな」と言鍵したが、は危害を加へないから飛撃するな」と言鍵したが、 販売部長は七日午餐三時業長四時 した小院編員職銀売販長及び町村 した小院編員職銀売販長及び町村 振常の件等を識すると コレラの 豫防注射

場さもの▲聚振保管に注意する 高る場所以外に於ては慣む事▲ 電銀設備提集設備に裏訳なきや 合・▲自然強火又は火氣を呼び の・本人自然強火又は火氣を呼び の・本人自然強火又は火氣を呼び の・本人自然強火又は火氣を呼び

一日同常極に数で運動館を奉行す

郵 棋將退敗 器

補囘戦に入つて 長春軍惜敗

ファンをやんやといはせた

歡迎會

軍部首脳者の

全滿野球第二勝戰

山間、千葉、膨齢、長粉高間、中世帯(戦)三氏、パクテリー安東機場に於て郷判要原(球)沼田、建場に於て郷判要原(球)沼田、 七日午後一時五十分より水安薬の大振戦は築造はれたる前後

朝鮮博見物

があるので今の唯一性に强調であ ・ であるので今の唯一性に强調であ ・ であるが近頃には説でふ使を ・ であるが近頃には説でふ使を ・ であるが近頃には説でふせる。 ・ である。 ・ でる。 ・ である。 ・ でる。 ・ でる

大連滿俱 對撫順戰 (安 簡手服告時山千山有 2011年 2015 2015 2015

五名同都落小野教師中から三名を ・職等を農場内の小作群人中から廿 に職業公司では小作群人中から廿 に職業公司では小作群人中から廿 の際ウオールサム懐中時計一個を が選手居住石袋商根上離五郎は六 が選手居住石袋商根上離五郎は六

支那の陳謝で 無事解決す

本 大祭 () の () 支兵附屬地侵入事件

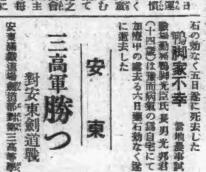
十月第一

日曜に

市民運動會開催

小學校の運動會と切離して

青年閣主催で行





為我沒 大連市社通知區及西田 挂香~

ちか?」 「いふえ、少しる…… 後女子は微かに首を

一気つて、

三五六五部電

以第一年 相州

滿日.社文藝係 別限り三光薄賞を呈す 鳥原 柱足面

療言學院

▲石楠(九月號) 東京市外中野新山谷一〇八其社族行足(1) 東京市外代々木







[代理店事集] ど分のな を人費

下海偏中であるが来る十七日孝天上勝穏をなさしめることしなり目土勝穏をなさしめることしなり目を開催され 後四時から所戴の返珠試合を催しても山崎土地深張別の鳥め七日午 送別庭球試合

(四)

▲佐藤少將(北平公使館附) 七日 金行にて赴連 本大質博士 七日大連より襲撃 本大質博士 七日大連より襲撃 | 顕文守解釈三大監察一中職は十二|
| 顕文守解釈三大監察一中職は十二|

▲福知山駅歐區主催の駐割除原間 動大日登連 あ六日登連 あ六日登連 ▲石垣柔道数師(大連湾場)九日來

▲客地圖灣館主事同上

協議事項 D 外人の催しにかょる此場 一等二圓三等一圓大人

本、六日の二日間市政総備成及中 工、六日の二日間市政総備成及中 として有名なるファウスト に於ける総器事項を影ぐれば 一、豊口に決ける総列立管筋の周 能する管叉名犬リンテンテ 到を期する1000円 が一、三日の陳変然口座に に於ける総器事項を影ぐれば 一、豊口に決ける総列立管筋の周 能する管叉名犬リンテンテ の正連素協調を取り情報の変換 外の概きありて総に見る名 大を迅速にすること を迅速にすること を迅速にすること ない、石田午後二時患者の有無に拘 ば来観者参数なるべしと 有年機器を口支部では世

大通出張中の魔

調査のため出張中の處七氏(養務係主任) 舞道沿

日午前十一時中村曾年末總理に降れてあるが同葉度職にて内閣電機を開き場首常識を聚らしつ」ある機関を開き場首常識を聚らしつ」ある機関を開き場首常識を聚らしつ」あるる機関を開き場首常識を聚らしつ」あるる機関を 大藤大吉徳中岡三は
非
山田川田本島本高の 會の内閣

「……あなたは失期からことにあらしたんですか?」

外には後文子のまなると

正、高橋一夫、三田戊子等議氏の御た倉職相、高島外相等は目下減

と、久奈は植木ぱの並べられた。 あなたにはお目にかっちか、あなたにはお目にかっちかのです

ありくくと常歌らしい柳葵を深べないでになりまして?」 !あなたはいつころへ

と口を意

提文子 の言葉にはおちつきがみ

・ ・ 佐文子がふいにさう云つたので 、兄はあなたに何か話し

があなたの の総版を幸融にするでせ

久意はそこまで云ひかけて、ふ それは兄では御座いません 変えな変することだけ、それだけ、それだけ、 あなたは小菜君を

を見せられたので、あなたは小森 で見せられたので、あなたは小森 でいや、それは多分や愉快な事實

見たんです。ぞれからもう一人:

(95)

窓

リ基軍電町国茶院北市版大

